

本気であそぶ幼稚園

上海リビングストン
アメリカンスクール・日本部

バイリンガル幼稚園

SHANGHAI LIVINGSTON AMERICAN SCHOOL

上海市長寧区甘溪路580号
021-6238-9853（日本部直通電話）
lasjapan.com　lasjapan@laschina.org



園長よりごあいさつ

バイリンガル幼稚園
園長　武田 仁美

私は小学校に上がるまで、山と川と海に囲まれた田舎で育ちました。
毎日、近所の友達と屋根にボールを投げてキャッチする“屋根ボール”をしたり、虫を捕まえたり、泥んこになってあそんだり。
夏には井戸で冷やしたすいかを食べ、川で泳ぎ、空の雲を見て「あっ、もうすぐ雨が降るな」と感じるような、自然と寄り添う毎日でした。

思えば、あの頃の“あそび”は、ただ楽しいだけでなく、たくさんのことを教えてくれました。
思いどおりにいかなくても工夫してみること、友達と力を合わせること、失敗してももう一度やってみようと思うこと。
そうした経験が、私の原点になっています。

今私は、バイリンガル幼稚園で園長をさせていただいております。
私たちの園には広い敷地と緑があり、子どもたちが夢中になって“本気であそぶ”ことができる環境があります。

幼少期は、とにかく思いきりあそんでほしい！

私は思います。
失敗したり、泥んこになったりしながら夢中で取り組む中で、子どもたちは自分の力を信じ、仲間と関わり、生きる力を育んでいくと――。

この幼稚園で過ごす毎日が、子どもたち一人ひとりの「生きる力の根っこ」を育てる時間になることを願っています。

上海リビングストンアメリカンスクール・日本部・バイリンガル幼稚園
園長　武田仁美

私たちは、
「本気であそぶ幼稚園」。



あそびをとことん追求する幼稚園を創る。
それが、私たちの覚悟です。

子どもが笑っていると、つられて笑っちゃう。
その笑顔が、何よりも愛おしい。
芝だらけになって転がる姿、真剣な顔で何かを創る手。
夢中であそぶその時間に、子どもたちの“今”がつまっています。
そしてその“今”を大切に見つめ、育てていくことが、私たちの保育です。

走って、笑って、考えて、失敗して、もう一度挑戦する。
そんなあそびの毎日が、子どもたちを大きく育てていきます。
“本気であそぶ”という言葉には、子どもが自分で考えて動く力を育てたいという願いと、
教師も子どもと共に成長していこうという思いが込められています。

幼児期にたくさんあそび込んだ子どもたちは、
大きくなっても、自分で考え、工夫し、仲間と力を合わせて乗り越える力を発揮します。
うまくいかなくてもあきらめず、どんな状況でも「まずやってみよう」と前に進むことができる。
それは、幼いころに夢中であそび、自分の力で“できた！”を積み重ねてきた経験があるからです。
私たちは、あそびの中にこそ、「生きる力の根っこ」が育つと信じています。

バイリンガル幼稚園は「あそびを通して育つ力」を最大限に引き出していきます。
子どもも教師も、そして保護者のみなさまも、本気であそびましょう！

５つの柱で広がる、本気のあそび！

バイリンガル幼稚園の特徴をいかして、あそびを じぶん・うごく・せかい・しぜん・つくる の５つの柱に分け、子どもたち一人ひとりの可能性を大切に育てていきます。









あそび会議、始めるよ～！



じぶんでやるよ！

おいしかった！



ピカピカ大作戦



じぶん

毎日の生活や友達とのかかわりを通して、じぶんのことをやりとげる力や、人とのつながりを大切にする力が自然と育っていきます。そこから生まれる思いやりや粘り強さといった未来につながる力を育んでいきます。



インタビューにドキドキ…



私のアイス☺



素敵でしょ！



おそろいでうたうよ



好きな自分に変身！



ようこそ！

うごく

空手やHIPHOP、P.E.（運動）では、外部の専門講師と一緒に新しい動きや表現に挑戦します。外あそびもたっぷり取り入れ、のびのびとからだを動かす中で、俊敏さや柔軟さ、バランス感覚やリズム感が育ちます。ときには小さなケガをすることもありますが、その経験を通して大きなケガを防ぐ力へとつながります。





















せかい

母語としての日本語を土台に、日本の四季や伝統を感じながら、世界の文化やことばにふれることで、子どもたちはちがいを楽しみ、広い視野を持つ力を育んでいきます。

























しぜん

自然にふれ、四季の移り変わりを感じる体験は、子どもたちの感じる力や心の豊かさを育てます。空の色や風のにおい、木々や虫との出会い。そうした日々の小さな気づきや発見が、子どもたちの世界をどんどん広げていきます。









なにいろに
しようかな



これください～



みんなで
ごろ～ん



くらげガール

つくる

絵を描いたり音やリズムで楽しんだり、想像をぐんぐんふくらませる中で、「考える力」や「工夫する力」、「ひらめき」が育っていきます。 そんな体験を積み重ねることで、子どもたちは自分の思いをのびのびと形にできる子へと成長していきます。



ひらめき大集合

ダンボールハウス
制作中





トントンいい音~

ぶくぶくぶく～







みんなでつくる ハレの舞台

運動会やパフォーマンスデー（英語のダンスや日本語の劇の発表）は、日々のあそびから自然に広がっていきます。子どもたちはワクワクしながら取り組み、本番はあそびの延長線。
終わったあともごっこあそびとして続いていき、楽しさと自信が次の成長につながります。











インリッチドクラスとの交流

同じ日本部の日英バイリンガル小学部（インリッチドクラス）との交流も行なっています。

幼稚園と小学部が併設している環境だからこそ生まれる、年齢を超えた関わりや自然な学びのつながりを大切にしています。
　特に年長児にとっては、小学生との関わりが大きな刺激になります。
「お兄さん・お姉さんの歌って素敵だな」「ぼくたちも１年生になったらできるかな」など、
小学生の姿に憧れをもちながら、“自分ももうすぐ小学生になる”という気持ちが自然と育っていきます。

また、小学部の先生が幼稚園の保育室にあそびに来てくれたり、廊下や外あそびで会ったときに声をかけてくれたりすることもあります。
そんな日常の中での自然なつながりも、子どもたちにとって身近で楽しい交流のひとつです。

インリッチドクラス
Instagram

@SLAS_ENRICHED

インリッチドクラス
X

@slasjapan



JAPANESE

日本語を大切にするということ

バイリンガル幼稚園は、
日本語を大切にしています。





「日本語を母語として育てたい」
そんな思いを持つご家庭のお子さまが、日本語の力をしっかりと育てていけるよう、私たちは日本語で、保育を行なっています。

母語が育つことは、子どもたちにとって"心の根っこ"を育てること。自分の気持ちをことばで表したり、考えをまとめたりする力は、すべてここから始まります。

三歳から六歳は、母語をもっとも自然に吸収できる大切な時期です。この時期に、ことばを通して人とつながり自分の思いを伝え合う経験を重ねることが、これからの学びにつながる大切な力を育てていきます。

また、日本語の持つやさしさや美しさも、子どもたちに感じてほしいと思っています。
日本語には、自然や心の動きを繊細に表す美しいことばがたくさんあります。
たとえば雨ひとつでも「しとしと」「ざぁざぁ」「ぽつぽつ」と、耳や心で感じたままに表現できます。

こうした言葉に触れることで、子どもたちは豊かな感性を育み、言葉の奥にある文化や心の動きを味わうことができます。

バイリンガル幼稚園の取り組み

あそびやおしゃべり、歌や読み聞かせなど、日々の触れ合いの中で、子どもたちが日本語で考え、感じ、表現する力を育てていきます。
その確かな言葉の力こそが、将来どんな国・どんな言語の中でも、自分らしく生きる力につながると、私たちは考えています。

研究からわかる「母語の力」の大切さ

海外の教育研究でも、「母語の力」が第二言語の学びや学力に深く関わることが明らかになっています。
アメリカで行なわれたThomas＆Collier（1997）の大規模調査では、
『第一言語（母語）の読み書きの力が高い子どもほど、第二言語（英語）での学力の伸びが速く、安定していることが報告されています。逆に、母語の力が十分でない子どもは、第二言語の理解や表現に時間がかかる傾向が見られました。』
さらにGenesee（2000）の研究では、
『母語がしっかり育っている子どもは、第二言語を学ぶときに「文法の仕組み」や「言葉の意味の違い」に気づく力（＝メタ言語能力）が高く、より深い理解につながると報告されています。』
つまり、日本語をしっかり育てることが、英語をはじめとする他の言語を学ぶ力の"土台"になるのです。











TEACHERS

子どもたちの「あそび」を支える教師たち

バイリンガル幼稚園の日本人教師は全員、日本の教員免許を取得しています。



私たちは、幼児期にとことんあそび込む経験が、その後の「もっと知りたい」「やってみたい」という学ぶ意欲や、自分で考えて取り組む力につながっていくと考えています。
だからこそ、子どもたちのあそびをただ見守るのではなく、一人ひとりの発達や興味を見ながら、どんな環境をつくるか、どんな言葉をかけるか、どこまで見守るかを考えながら、毎日の保育を行っています。

そして、私たち教師自身も学び続けています。
定期的にあそびの研究発表を行い、子どもの発達段階や季節のあそび、ことばの育ちなどについて学び合い、日々の保育に生かしています。

また、毎月クラスの振り返りを行ない、子どもたち一人ひとりが今どのように育っているのかを教師同士で共有しながら、次の保育へとつなげています。

**私たちは、子どもの育ちを支える保育のプロとして、
この仕事に誇りを持ち、学び続けながら毎日の保育に向き合っています。**

SHANGHAI LIVINGSTON AMERICAN SCHOOL

SLAS CORE VALUES







Compassionate Citizens

『仲のよい子ども』
人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝えあう喜びを味わう。

Confident Individual

『自分でできる子ども』
幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。

Creative Thinker

『考える子ども』
身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりしながらそれらを生活に取り入れる。

Proficient Communicator

『伝えることができる子ども』
感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。

Shanghai Livingston American School
Bilingual Kindergarten Japanese Division

Contact Us
021-6238-9853

Visit Our Website
lasjapan.com

Email
lasjapan@laschina.org